

月影



第57号

すべては
心から
生まれる



平成二十九年七月十五日発行
浄土宗西山禅林寺派
常林院

日照りの時は
恵みの雨

お出かけ時は
あいにくの雨

自分の都合で
降れと願ひ
降るなど願う

雨は変わらず
同じ雨

仏事作法

お盆とは

亡くなった人がお浄土から帰って来る七月十五日に精霊を迎え、供養し、再びお浄土へお送りする行事です。現在は新暦の八月にお盆の行事をする所が多いです。

なぜお盆というの？

お盆の正式名は「盂蘭盆会（うらぼんえ）」。「インドのサンスクリット語の「ウラバンナ」が語源です。

意味は「逆さづり」。つまり地獄や餓鬼道に堕ちて逆さづりのような苦しみを持つ精霊を救うため、代わりに功德を積み、供養することで、その苦しみを取り除くことがお盆本来

の目的なのです。

お盆のはじまり

お盆は、お釈迦様の弟子の目連尊者が、お母さんを救う為に、七月十五日に供養したのがはじまりです。そして、日本の先祖を大切に供養する祖霊

お盆

信仰と融合し、日本独特のお盆の風習になりました。

目連さんのお母さん

お釈迦様の弟子の目連尊者は、神通力で今は亡き母がどこにいるのか探しました。すると、餓鬼道に落ちて苦しんでいました。

どうすれば救えるのかお釈迦様に相談すると「七月十五日にお坊さんたちが修行を終えられるので、供物をささげるのです。そして、お母さんのために供養してもらいなさい」と答えられました。

目連さんのお母さんは、その供養の功德によって救われました。

この故事にちなんで、ご先祖の精霊を供養するお盆が始まりました。

ご先祖を迎える七日盆

お墓の掃除をします。また、お仏壇や仏具を掃除し、ご先祖の精霊を迎える準備をします。



精霊棚（しょうりょうだな）

精霊棚とは、ご先祖の霊を迎え、もてなす為に、位牌を安置し、供物をならべる棚のことです。飾り方は地域や各家によって様々ですが、水塔婆、ロウソク、線香、水を置き、季節の野菜、果物などを供えます。十二日の夕方から十六日のお送りまで、朝昼晩、お供え物のメニューが変わります。



キュウリの馬で早く帰ってきて、ナスの牛でゆっくりお浄土へ帰って下さい。

迎え火

十二日までにはお仏壇の前に精霊棚（しよりりょうだな）をつくり、供物を供えてお飾りをします。その日の夕方に門口で芋殻（おがら）に火をつけ、ご先祖の精霊が迷わず我が家に帰って来られるように迎え火を焚きます。おがらは花屋などに売っています。



迎え火

ご先祖を見送る送り火

十六日の夕方、送り火を焚き、再びお浄土へお帰りになるご

先祖の行く手を照らして見送ります。地方によっては、灯笼を灯して、川に流す精霊流し等、様々な送り方があります。京都の五山の送り火も同じ送り火です。



お盆

ご先祖を供養する棚経（たなぎよう）

僧侶がお檀家さんの各家へお参りに行き、精霊棚の前で読経します。精霊棚の前で読経するの「棚経」とい

お施餓鬼（おせがき）

お施餓鬼とは「餓鬼に施す」という字の通り、餓鬼道に堕ちている精霊の供養、そして、檀信徒各家の先祖代々の諸精霊を供養する法要です。本堂の本尊と向かい合わせのように施餓鬼棚（せがきだな）を設けて供物を供え、各家ごとに水塔婆供養をします。法要後、施餓鬼旗をお渡しします。当寺では組寺五人の僧侶で読経します。



施餓鬼棚

常林院の盆行事

◎七日盆

八月五日〜七日。本堂と墓前で読経。

◎棚経

住職が各家の精霊棚で読経します。日時はハガキでお知らせします。

◎お施餓鬼

☆八月十六日
午後六時半より
本堂にて
施餓鬼申込者・永代祠堂・永代供養をあげておられる方にお焼香をしていただきます、一霊ずつ水塔婆供養をします。



あれこれ

仏教用語

盆踊りはお盆に帰ってきたご先祖の精霊を慰め、再びお浄土へお送りする為、やぐらを囲んで輪になって、太鼓や笛、唄に合わせて集団で踊る行事です。

盆踊りの起源は、平安時代の僧、空也

盆踊り

ぼんおど

の念仏踊りが、先祖を供養するお盆と結びつき「盆踊り」になったといわれています。

時代と共に仏教行事という意味合いよりも、娯乐的な要素が強くなってきました。



仏事のしつもんちょう

質問帖



問「初盆は、いつ勤めればいいのですか？」

答

初盆（はつぼん）とは、亡くなった後、四十九日の法要が終わり、初めて迎えるお盆のことを初盆といえます。

お浄土へ往生した霊が、初めて我が家へ帰って来るお盆なので、いつもと違い、精霊棚のお飾りも、提灯を灯し、オガラで作った梯子（はしご）を精霊棚から仏壇にかけます。精霊はその梯子をつたって帰ってこられ、供物を頂かれるのです。心を込めておもてなしをしましょう。

初盆のことを、新盆（にいぼん）と呼ぶ地域もあります。

質問募集

仏事のこと等、気軽に質問して下さい。

FAX 075-691-9658

メール info@jo-rin-in.jp まで

